

戦国の武将 毛利元就のふるさと 百万一心で伝える ひろしま安芸高田神楽



戻り橋

神々に捧げる舞い、日本の祭の原点——神楽

神楽といえば何か神聖で厳かなものを連想しますが、広島神楽、特に当市神楽は、「神事」を原点としながらも、勇壮華麗でリズム感が良い演劇的な芸能として発展してきました。神楽は、今や文化の伝承保存のみならず、観光振興の視点からも地域活性化に大きな役割を担っています。広島県の北部に位置する当市は、戦国の武将「毛利元就」の生誕の地であります。私たちは、毛利元就の遺訓「百万一心」の心意気で郷土の誇りである「ひろしま安芸高田神楽」の魅力を全国に広める取組みをしています。東京公演も今回で5回目となり、回を重ねるごとに皆様との交流も深まり、主催者一同、深く感謝しております。スピード感、豪華絢爛な衣装、ストーリー構成など、きっとご満足いただけるものと確信いたします。是非この機会にご来場ください。

広島県安芸高田市 市長 浜田 一 義

演目紹介

第1部 日本人がこよなく愛する
仇討ち話の代表作

曾我兄弟 そがきょうだい

父の仇、工藤祐経を討つため、母との情を断ち曾我十郎・五郎の兄弟は、源頼朝の巻狩に随行していた祐経をねらいます。雨の中、富士山麓の野営地に野襲をかけ、そこで出会った思わぬ人の力をかりて見事に本懐を遂げます。セリフのあるシーンはもちろん、無言の所作にも登場人物の万感の思いが伝わる名作です。

第1部 ついに、最終決戦！
勝利のゆくえは果たして

大江山 おおえやま

「戻り橋」「羅生門」「大江山」という神楽を代表する壮大な三部作の最終編です。丹波の国、大江山に棲む大悪鬼の酒呑童子とその手下たち。都で幾度となく悪事を働き、いよいよ源頼光が四天王を伴って大江山へと退治に向かいます。山伏の姿に身を変えて鬼の岩屋へ侵入する頼光たち・・・、酒呑童子の厳しい尋問？をかいぐり、クライマックスへ・・・。

第2部 源頼光・四天王VS酒呑童子
大江山の戦いへと続く前段の物語

戻り橋 もどりばし

京の一条戻り橋あたりに夜な夜な老女に化けて出没する悪鬼の茨木童子。それを成敗しようと渡辺綱が向いますが、酒呑童子の登場により窮地に立ちます。そこへ坂田金時が助太刀して、茨木童子の左の腕を切り落とします。酒呑童子・茨木童子らはとどめを刺される前に大江山へと飛び去ります。

第2部 英雄スサノオ見参！
手に汗のスペクタクル巨編

八岐大蛇 やまたのおろち

中国地方に伝わる神楽の代表作「八岐大蛇」。古代神話のヒーロー須佐之男命が八頭八尾の大蛇を退治する物語です。生贄に姫を差し出す老夫婦・・・。見事大蛇を退治し、めでたく姫と契りを結ぶ須佐之男命。八頭八尾の大蛇のシンクロナイズドする圧巻の演技をとくにご覧あれ！

同時開催

安芸高田市物産展 ロビーにて
13:00～20:00
神楽衣裳の試着体験もできます！

会場のご案内

日経ホール 東京都千代田区大手町 1-3-7

地下鉄「大手町駅」下車 C2b 出口直結

東京メトロ ○ 千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
○ 丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
○ 半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
○ 東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分

都営地下鉄 三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分



出演：羽佐竹神楽団



曾我兄弟



大江山



八岐大蛇



広島県 安芸高田市
神楽門前湯治村
神楽定期公演 年間150日開催

はじめてなのに なつかしい